

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：ちやいれっく平戸町保育室	種別：地域型保育事業
代表者氏名：青木 正子	定員（利用人数）： 19名
所在地： 〒244-0803 横浜市戸塚区平戸町753-4	
TEL：045-443-6124	ホームページ： https://chilec.procare.co.jp/hiradocho/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 プロケア	
職員数	常勤職員： 6名 非常勤職員 7名
専門職員	保育士 11名 栄養士 1名
	調理師 1名
施設・設備の概要	保育室 1室 トイレ 1ヶ所
	調理室 1ヶ所 事務室 1室
	園庭 有

③理念・基本方針

【理念】

『大地にがっしりと根を張る〈大樹〉になってほしい』
この子らはどんな葉を茂らせ、どんな花を咲かせ、どんな実をつけて人を笑顔にするのだろう。

子どもたちが〈大樹〉と育つための、その基となる〈根っこ〉を育てるお手伝いをしたい、そうプロケアは願っています。

【保育方針】

〈こころ〉〈からだ〉〈生活〉の三位一体の保育を目指します。

【こころ】温かい「第二の家庭」を提供し、心の豊かさを育む

【からだ】生活のリズムを整え、食育に取り組み、健やかな身体を育む

【生活】様々な体験を通じて、主体性と協調性を育む

園の保育目標

1. げんきな子
2. おもいやりのある子
3. さいごまでがんばる子

④施設・事業所の特徴的な取組

小規模保育園ならではのゆったりした時間の流れの中で、家庭的な保育を実施しています。平屋の建物で、各クラスいつも顔を合わせながら生活をしているため、常に異年齢での交流を持つことができ、職員全員で子どもたちを見守っている環境です。

【特徴的な取り組み】

- ・連携園に英語講師を雇用しており、週3日英語教室(英語遊び)を実施しています。
- ・毎日リズム運動を行っています。

「リズム運動」

リズム運動は、生まれてから成長する身体の動きが基本となっています。寝返り⇒ずり這い⇒ハイハイ⇒高這い⇒歩行へと進み、金魚・お馬の親子・とんぼのめがねなど親しみのある曲にあわせて体を動かします。ハイハイは骨盤を安定させ、バランス感覚を養い脳の発達に重要な役割があります。また、指先から足先までを全て使う基本の動きであり、人として発達する上で大切な初めの動きになります。体幹づくりや指先への分化を促し、楽しみながら身体を動かしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月1日(契約日) ~ 令和5年1月24日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	回(年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 毎日のリズム運動で体力や運動機能などの向上を図っています

毎日、職員のピアノに合わせて0歳児から2歳児まで全員でリズム運動を行っています。子どもたちは親しみのある曲に合わせて身体を動かしています。クラスごとに部屋の中央で運動する場面があり、その時は自分が主役の気分になり、子どもなりに身体を動かし表現しています。0歳児も自分のできる範囲で運動をしています。毎日の習慣になっており、子どもたちはピアノの曲がかかると自然に身体が動くようです。楽しみながらバランス感覚や体幹づくり、脳の発達、運動機能向上など体の基礎作りに繋がっています。

2) 縦割り保育の機会を大切にしています

ワンフロアをパーテーションで区切り、それぞれのクラスで子どもたちが安心して過ごせるよう工夫しています。0歳児は3名と少人数で、保育者との関りが深く持て、十分な愛着関係を築ける環境です。0~2歳の小規模園のため、日常的に他の年齢との関わりがあります。毎日行うリズム運動は合同の時間で行っています。違う年齢の子どもたちが順番に部屋の中央で運動し、他の子どもたちは周りで見学します。大きい子の動作を小さな子が観察し、大きな子を手本にしなが、自分の順番を待つことでも学びがあります。少人数なので保育士全員が、すべての園児を知り、保育することを重視しています。

3) 家庭的な保育を職員全員で実践しています

人通りの少ない静かな環境の中、小規模保育園ならではの家庭的な雰囲気の中で保育

を行っています。ワンフロアで全クラスが見渡せ、全職員で全園児を保育することを重視しています。職員間のコミュニケーションもよく取れており、できないところなどお互いにフォローし合える関係ができています。栄養士を職員として配置しており、送迎時の保護者からの離乳食や食事などの相談にも栄養士が気軽に応じています。

4) 保育の質の向上のため非常勤職員への研修参加が期待されます
法人では毎月新卒から中堅まで研修が行われています。職員は年度始めに個人別研修計画を作成し、計画的に研修に参加しています。園内研修も毎月実施し、職員の教育・研修に力を入れています。園内研修は全員参加が基本ですが、非常勤職員は外部研修や法人での研修は勤務時間の関係で参加できていません。保育の質の向上を図るためには、非常勤職員の研修計画の作成と業務としての研修参加が期待されます。

5) 地域との連携が期待されます
0～2歳児が対象の施設ということやコロナ禍もあり地域との交流が少ない状況です。社会的資源としての保育園の機能を地域貢献に役立つ取組や地域ボランティアの受け入れ等もなく、地域と関わる機会がまだ多くありません。地域の福祉ニーズを把握することに努め、保育の専門性を生かした活動が期待されます。地域と交流を深めることにより、防犯面や災害時など協力できる関係性の構築も期待できます。地域との交流・関係が持てる取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受けるにあたり、保護者の皆様にはお忙しいところアンケートにご協力頂きありがとうございました。今回の調査日に向けて準備を進める中で、職員間で改めて自園の取り組みについて振り返ったことは、保育面でも運営面でも気づきや再確認へとつながるとても貴重な機会となりました。

私自身、4月からちゃいれっく平戸町保育室の職員として携わり、より良い保育の在り方を目指しながら試行錯誤をしてきた日々でした。そのような中、私たちが日々取り組んでいる保育・運営に関して第三者としての視点からアドバイスを頂き、園の良さや課題点を知る事ができました。家庭的な雰囲気の中で職員全員で保育に取り組んでいるという良さを評価して頂き、「第2の家庭」を目指している私たちにとっても嬉しいお言葉でした。

頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の取り組みに生かしていきたいと思っております。

また、保護者の方に安心して預けて頂けるよう、子ども達に寄り添う保育を引き続き目指して職員一同努めていきたいと思っております。

ちゃいれっく平戸町保育室 青木 正子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり